

2019（令和元）年度 文化遺産学専攻 卒業論文題目一覧

主題	副題
京都の妖怪出没地の位置考察	地域文化財としての妖怪考
『桑名日記』からみる、江戸時代後期の年中行事について	
ひとつ物神事からみる稚児のジェンダーについて	
高取町の伝統行事の考察	
丹生都比売神社の歴史的・文化的考察	中世権力者との関係性
枚方宿役人日記からみる江戸後期の枚方	
遊郭の文化史的考察	特に吉野太夫について
千利休による茶道の厳格化の功罪	
日本の四季と菓子についての考察	
『記紀』と『風土記』におけるスサノオの伝承	スサノオの伝承に見る文化史的考察
葛飾北斎筆「潮干狩図」の成立に関する一考察	
百鬼夜行絵巻の図像に関する一考察	
満谷国四郎作「戦の話」についての研究	
江戸時代後期における長崎螺鈿の文様について	
飛鳥・奈良時代の仏像の表情について	
「鳥獣人物戯画」甲巻にみる表現の特色について	
太元帥明王の信仰	中世の修法と図像を中心に
風神・雷神の研究	一三十三間堂の風神・雷神像を中心に
擬洋風建築の塗装に関する文化財科学的な検討	龍谷大学大宮学舎擬洋風建築の塗装を例として
中世における鑄造技術に関する研究	平安京八条界隈出土資料を例として
被災文化財へのわが国における対応と問題	水損紙資料に対する簡便な方法の検討
金箔づくりに用いる和紙の変遷に関する研究	金沢伝統箔とそれ以前の箔打紙との比較
院政期における金工技法に関する文化財科学的研究	法住寺殿跡より出土した資料を例として
金箔の仕様と製作技術における文化財科学的研究	京都市内より出土した金箔瓦を例として
凝灰岩製石造文化財の劣化と整備に関する基礎的研究	奈良市長谷町塔の森の石塔を例に
仏像の制作及び修理に用いられた材料と技術に関する文化財科学的考察	木彫仏の麦漆と金銅仏の鍍金
滋賀県長浜市における文化遺産活用の取り組みについて	
開発による文化的景観の変化と保護	京都市における事例分析
世界文化遺産登録に向けての課題とその克服	「四国八十八箇所霊場と遍路道」について
日本遺産の課題と今後の展望	特に「祈る皇女齋王のみやこ 齋宮」について
伝統工芸における「活用」の可能性	桐生織・江戸切子を中心に
特別史跡 平城宮跡の整備について	
博物館の来館者数からみる文化財の活用状況	
東六甲採石場について	刻印群の分析を通して
天智朝前後の軍事施設の検討	飛鳥・大津地域を中心に
古墳時代の牧について	河内を中心に
弥生時代の武器形石器について	奈良県を中心に
平安京周辺の経塚	造営場所と出土遺物の検討
弥生時代後半期における土器破砕儀礼	吉備地方の穿孔土器を中心に
弥生・古墳時代における製鉄の検討	
須恵器長頸壺Gについて	用途を中心に
近江国高島郡の郡衙と条里	
恭仁宮の造瓦体制	